

處分ニ困難ヲ来シ、從テ資金ノ運轉円滑ヲ欠
キ市内大同銀行及無盡會社等ニ於テ資金ヲ借
入レ一時ヲ糊塗シツツアル状態ナリ。

一、海産界 沿岸、漁村特産ノ「テン草」ハ南支方面
ヲ主トシテ南洋方面ニ輸出ナシツツアリタル
處事変ノ影響ヲ受ケ支那ノ需要激減、爲價格
ハ約一割七分落ノ相場トナリ業者ハ相當打撃
ヲ蒙リ取路擴張ニ付對策考研中ナリ。

(三) 德島縣

一、微發馬中一般農事ニ快役セラレツツアリタル

馬匹ハ總數ノ約六割ヲ占ムルモ目下農閑季節
ニシテ馬耕ヲ要スルモノ少ナク必要ニ應ジテ
牛ヲ代用スルノ途アリ農繁期迄徐ニ補充スル
ノ情勢ニアリテ影響極メテ少ナキモ微發馬中
約三割ハ¹輓馬トシテ荷馬車輓業者ニ使用サレ
ツツアリタルモノニシテ²中等業者ハ專業或ハ兼
業トシテ馬ノ使用ニ依ル收入ヲ以テ生計ヲ維
持シ居リタル爲、殆ンド失職ノ状態ニ陥リ牛
ヲ以テ代用セントスル者アルモ極メテ少ク且
ツ貯蓄ナク微發賠償金ノ交付ヲ受ケザルニ於

テハセガ補充ヲ爲シ得ガル現況ニシテ而モ馬
 匹拂底シ其ノ補充困難ナル爲、轉業ヲ志ス者
 フルモセ亦意ノ如クナラズ差當リ生活ニ窮ス
 ル者ヲ生ジツツアル情況ナリ

一、荷馬車輓馬ノ徵發ニ伴ヒ物資ノ輸送月滑ヲ欠
 キ一部山村ニアリテハ尙取引ニ影響スルノミ
 ナラズ運賃ノ値上リヲ豫想セラレ一般物價ハ
 多少高値ヲ示シ又従来殆ンド荷馬車ニ依ツテ
 運搬セラレタル木材モ輸送困難ニ陥リ木材業
 者ハ爲ニ取引ノ円滑ヲ缺クニ至ル等一般ニ相

當影響アリ

(三)

受媛縣

一、初秋蚕ハ約拾萬貫ノ收繭ヲ見タルガ今次事変ノ影響ヲ受ケ福井、金澤其他内地向機織ハ目下休業ノ模様ニシテ尚事変ノ見透レ困難ナル爲、地方製絲業者ハ特別ノ者ヲ除ク外四拾鈞乃至四拾三鈞位ヨリ、買ヒ價ヲ示サズ一般養蚕家ハヨリ以上ノ買値ヲ希望シ且ツ乾繭組合等ノ恣憑モアリテ乾繭ヲ貯藏シ以テ價格ノ上昇ヲ待機セントスルノ氣配アリ。

(三) 大分縣

一、旅館業 市内大小旅館約四百五十軒、昨十一月七月中ノ投宿客六萬五千百六十人ニ對シ本年同月中ハ三萬三千九百八十人ニシテ約五割ノ激減ヲ示セリ

二、花柳界 料理屋貸席等多數アルモ一般人緊張ノ爲メカ客足激減シ平年ノ約六割減ノ状態ナリ

三、各遊覽場 地獄巡り遊覽地等ノ各遊覽場モ觀客減ジセ亦平年ノ約五六割減收ナリ

一、其ノ他ノ商店街 別府市内各商店街ノ大部分
ハ何レモ遊覽入湯客ヲ目標トシテ營業シ居ル
爲来客減少ニヨリ賣行頗ル不振ナリ。

一 事変ニ関スル各方面ノ一般的意嚮

(一) 金融界方面ノ意嚮

東京 第一銀行

基

私モ内閣ノ經濟統制委員ニナツテ居ルガ其ノ經濟統制委員會ノ意嚮ハ大体ニツノ様デ、一ツハ徹底的ノ統制ヲ爲ス意嚮ヲ持ツテ居ツタ様デアツタガ、現在ハ漸進的統制ノ様デ、未ル臨時議會ニ提案セラル、モノハ世間デ心配スル程ノ徹底シタモノデナク相當緩シナモノデアアル様デア
ル、統制モ徹底的ニヤルベキカ、漸進的ニヤル

ベキカニ就テハ歐洲大戰ニ於ケル独逸ノ行ツタ
程ノ統制ハ目下ノ我國ニハ施行出来ナイと思フ。
我國ハ独逸ノ如キ戰敗國トハ事情が違フモノ
デアリ独逸ノ經濟統制ニハ統制施行ニ五十万人
ノ官吏ヲ要シタト云フ話デアリ、其ノ經費ハ相
當莫大ナモノデアツタトノ証デアル。
經濟統制ハ元来自治的ニ行フ方が効果的デアル
が我國デハ事変ノ推移如何ニヨリテハ統制強化
ヲ圖ラネバナラナイ時期が来ルヤモ知レナイ。事
態ニ依リテハ徹底的ノ統制モ止ムラ得ナイノテ

アル。

東京 不動銀行

某

一年百億圓位ノ公債ノ消化ハ難事デハナイ。本年入ツテカラモ一部ニハ危マレタ公債ノ消化ハ循環的ニ行ハレルカラ未ダ懸念スルニハ及バナイ。我國ノ銀行ガ健全デアアル限り三年ヤ四年ハ決シテ心配ハナイ。

東京 大井信用組合

某

事変ノ長引クニ連レテ相當ノ打撃ハアルモノト覺悟シテ居ル。目下ノ多一般預金ハ幾分増加ノ

傾向ニアルガ貸出シノ方ハ長期ノモノハ成可ク
控目ニ警戒シテ居リ一般ノ商人等モ先ノ見透シ
が付カズ気迷ヒ状態ニアルノデ資金ノ運用ヲ手
控ヘ居ル關係上資金ノ利用者ガ少ク預金過剰ニ
苦シンデ居ル状態デアルガ近ク発行サレル畢事
費・公債等ヲ組合デハ進ンデ迄末ル迄分担シテ
行ク方針デアル。
政府ハ臨時議會デ二十億ノ追加予算ノ協賛ヲ求
メ之ヲ全額公債ニ依ル方針デアルト発表シテ
居ルガ増税等ニ依ルヨリモ寧ロ公債ニ依ツタ事

ハ一般人心ニ不安ヲ與ヘナイテ良イ方策デアツ
タト思フ。此ノ上戦争が永クナレバ通常議會ニ
ハ何シテ尨大ナ戦時予算が提呈サル、ヤ知レザ
ルモ舉國一致直ニ國家總動員デ國難打開ニ當
ルノデアルカラ負担能力ノアラン限り公債消化
ナリ或ハ國防献金ナリシテ政府ノ方針ニ一致協
カシナケレバナラヌト思フ。

現在ニ於ケル全國銀行ノ予金總額ハ百七十億國
ヲ超エルト云フ事デアリ、之ニ郵便貯金ヤ信託
會社等ノ予金ヲ加ヘレバ優ニ五十億ヤ百億ノ公

債ハ國內デ消化出来ルト思フ。戦時償ト云ツテ
モ全部國外ニ流出スルノデナク、一部材料代、
其ノ他ニ幾分ノ流出ハアルガ、大半ハ國內ノ軍
需工業其ノ他ノ商人ノ間ニ融通サレルノデア
カラ経済界ハ多少インフレ景気ニ依ル物價騰貴
悪影響ハアルデアラウガ大シク事ハナイト思フ。

東京 第一商事株式会社

某

財界ノ或ル一部ニアリテハ今次ノ事変ニ伴ヒ少
クナクトモ二十億ノ公債ガ発行サレ其ノ消化力
ハ現下ノ我が経済状態ニ於テ財閥、銀行、信託

及地方等ニ於テ約五億程度ノモノデアリ結局日
本銀行ハ十五億ノ背負込ミヲナシ、隨ツテ將來
準戰時經濟ノ進展ニ依ル物價騰貴ヲ恐レ、イン
フレノ悪性化ニ危惧ノ念ヲ抱イテ居ル向モアル
ガ或ハ多少ノインフレハ免レヌトシテモ日露戰
當時ノ經濟狀態ト現下ノ經濟狀態ヲ比較検討ス
ル場合ニ決シテ恐慌ヲ危惧スル程ノ事ハナイト
思フ。最近或ル銀行ノ内情ヲ見ルニ公債ヲ持タ
サレルト言フ事ヲ豫想シ貸本シノ引締メヲ爲シ
ツ、アル様デアルガ之ハ生産資金ノ運用ヲ阻害

スルモノデアリ、國家ノ大局的見地ヨリ見テ遺
憾ナ現象デアツテ即チ株式ノ暴落ヲ来タシ、延
イテハ諸外國ニ對シ悪影響ヲ招来スルニ至ルデ
アラウ。

東京 東京商工會議所議員

某

支那事変モ事茲ニ至ツテハヤル所マデヤラナケ
レバナラヌデセウカラ國內ニ於テハ單ニ財界ト
云ハズ政治、言論界、其ノ他凡テ一致協力シテ
諸般ノ政策ニ於テモ不急ノモノハ之ヲ繰延ベ
必要ニムラ得ザルモノニ付テモ無駄ヲ排斥シ

消費經濟ニ留意シ生産力ノ拡充ニ努メ所謂物ノ
充實ヲ計ル必要ガアルト思フ。事変ガ長引クコ
トハ賤界方面ニ及ボス影響モ尠カラズ。特ニ莫
大ナル戦費ノ費消ニ付テハ事変終了後カ何レノ
時ニカ反動ガアルノデハナイカト思ハレル。賤
界ノ前途ハ必ズシモ危惧ノ感ナシトハ申サレナ
イ。成可ク早ク解決セラレルコトヲ望ムモノデ
アル。

大阪府

某

一部賤界ニ於テハ金融梗塞ニ就キ杞記ノ如キ理

由ラ舉ゲ居レリ、

一、三井、三菱、住友ノ三財閥ハ自己經營ノ軍需工業關係以外ニ融資ヲセザルコト、ナリタルコト

二、政府ハ民間ニ下命スル軍需品買上ニ際シ物品全部ノ納入後ニ非ラザル支拂ヒラセザルコト（會計法ノ建前ヨリシテ）此ノ意味ニ於テ軍需品ニ對スル政府ノ未拂額相當巨額ニ達シ居ルコト

三、一般銀行ハ滿洲事變終了直後軍需工業家ニ

對スル融資ニシテ回収不能ノモノ相當額ニ達
シタル体験上支那事変ノ終了時期ニ對スル見
透着カザル爲軍需工業凋落時ニ於ケル融資回
收不能ヲ慮リ今工業者ニ對スル貸金ヲ警戒シ
居ルコト

四 支那事変勃發後軍需工業關係事変ノ突發的
膨脹ニ伴ヒ自己ノ生産範圍以上ノ注文ヲ引受
ケ居ルコト

愛知縣

愛知銀行

某

銀行カラ見タ金融市場ノ動キハ對支貿易ノ緊張

カラ貿易商方面乃至綿布商方面ニ於テ資金ノ回
轉ニ不円滑ヲ呈シテ居ルガ、一面預金ニ於テ昨
年ヨリ約一割、貸出ニ於テ約一割五分ノ増加ヲ
見テ居ル、之ハ重工業乃至ハ軍需工業ノ活況ヲ
伴フ生産力ノ拡充ニ依ルモノニシテ政府並ニ日
銀ノ市場ヘノ積極的進歩ハ今後一層金融市場ニ
對スル不安ヲ解消スルニ至ルモノト思フ

△縣

名古屋手形交換所

某

手形交換所ヨリ見テ金融市場ノ動キハ本年三月
頃ニ於ケル株式ノ活況ニ伴ヒ相當活潑ニ回轉ヲ

見マシタガ、今回事変ノ発生ト共ニ金融市場或
ハ株式市場等ニ於ケル不安ヲ伴フ緊張カラ稍
軟調ヲ呈シテ居ルガ之ガ数字上表ハレルノハ今
月下旬頃ダト思フ。六千五
岐阜縣 大垣共立銀行 某
二十億ノ尠大事変費ハ一先ヅ赤字公債ニ依リ支
弁サレルコト、思フガ之ハ現時ノ應急處置トシ
他ニ道ハナイカラ止ムヲ得ナイ。
此ノ赤字公債ハ大体金融業者ニ半バ強制的ニ分
配引受ケサセルモノデアルガ之ハ公債半分増

税半分ニスルノガ一番安全策デアルソレハ全部公債ニ依ル時ハ或物が不足ヲ来スコトニナリ其ノ爲全体ノ物價が騰貴シ悪性インフレヲ来スカラデ、政府ハ之ヲ防止シ且必要ナル金融ノ円滑ヲ圖ル爲ニ地方銀行協會ト計リ不生産的事業ヘノ貸出ヲ拒否スルコトニ大体意見ノ一致ヲ見テ中ル。從ツテ尠大予算ニ依ル赤字公債ヲ金融業者ニ於テ引受ケテモ之が爲必要ナル事業ニ影響ヲ及ボスコトハ無イデアラウが反面ニ於テ不生産的事業ハ自然衰微スルト思フ。

又此ノ赤字公債ノ消化ハ矢張り増税ニ依ルノ外
ハナイカラ漸次税制ノ改革其ノ他増税ニ依ツテ
回収スルコト、思フ

福岡縣 安田銀行八幡支店 某

當行ノ窓口ニ現ハレタ予金貸出ノ狀況ハ一般的
ニ商品ノ仕入手控ヘノ爲昨年同期ニ較ベテ著シ
ク減少シタ反面八幡製鉄所ヲ始メ重工業ニ從事
シテ居ル者ハ取エニ至ル迄収入が増加シタ爲小
口預金者ハ急増シタ。

△ 有價証券賣買業

某

當社ハ大衆ノ金融ニ主点ヲ置イテ居ルノデ
 中
 小商工業者、俸給生活者、勤勞者ニヨツテ組織
 セラレテ居ル五千圓以下ノ小無盡が加入者ノ事
 変應召ニヨル掛金停滞ニヨリ著シ^件影響ヲ受ケテ
 居ルノデ事変が長引ケバ何等カノ便法ヲ講ゼネ
 バ加入者ニ大キナ損害ヲ及ボスト思フノデ考慮
 シテ居ルが其ノ方法ガナイノデ困ツテ居ル。
 三井信託株式會社重役 某
 事変ニ依ツテ需要ノ激減ヲ見ルニ至ツタ物資ハ
 多少下落スルデアラウ。現ニ操短シテキル會社

モアルが夫レハ一部分ニ過ギズ。全般的ニ物價
ハ騰貴スルモノト思ハレル。之ハ現在ノ如キ自
由主義經濟下ニ在リテハ必然ナ事デ之ヲ防止セ
ントスルニハ徹底的ナ統制經濟ヲ實施スルヨリ
方法ハナイ。然シ乍ラ此ノ問題ニ對シ現在ノ經
濟機構ヲ變革シテ追ヤル必要ハナイ。只此際暴利
取締ノ徹底ヲ期シ、不徳義漢ノ跋扈ヲ防止シテ
欲シイト思フ。

現在追ノ國債發行予定額ハ約二十三億余デア
ルガ、軍事、軍事費ニ関スル國債デア
ル以上今後五

十億、百億ニ累加サレ様トモ乘リ掛ツタ舟ハデト
ウシテモ消化シテ行カネバナラス。然シ其ノ消
化ノ方法如何が重大問題デアル。
現ニ我財界ハ資金枯渴ノ状態デアリ、今回ノ國
債デモ日本銀行が背負込ンデ呉レナイ限り民間
支テ全部消化出来得ナイ。
現日銀總裁結城サンハ最モ財界ノ事情ニ通ジ信
用ノアル人デアルカラ此間ノ事情ヲ了解シ最適
ノ手段ヲ以テ消化ヲ為シテ行クコト、信ズル。
我國ノ貿易ハ本年ニ入り約七億ノ入超デ日露戰

1
半以來ノ記録ヲ示シテキルガ之ハ軍需品製造ノ
原料其ノ他ノ大量輸入ニヨル爲ト思フガ、本表
ナラバ下半期ニ出超トナラネバナラヌノニ漸ク
先月小額ノ出超ヲ示シタ程度デ對支貿易ノ杜絶
ト共ニ今後或程度ノ入超ハ免レマイト思フ、肥
料セメント・人絹等ノ平和産業ハ目下ノ多重工
業ノ隆勢ニ押サレ鳴リヲ沈メテキル状態デ對支
關係ヲ主トシタ生産業者ノ打撃ハ大キイ模様ダ
ガコレトテ操短其ノ他ノ方法デ對策ヲ講ジテ居
ルシ全般的ニ大シタ影響ハアルマイト思フ。

為替相場ニ就イテハ政府ハ金ノ現送ニ依リ現狀
維持ニ努メテ居リ我國ノ態面上今後共腐心スル
事ト思ハレルガ本問題ハ一ニ政府ノ腹如何ニア
ル
臨時議會ヲ可決サレタ諸法案ニ對シ財界デハ止
ムヲ得ザルモノト爲シテ居ル様デアルガ、私ハ
諸法案中資金調整法ハ時宜ニ適シタモノデア大藏
當局ノ英斷ニ賛意ヲ表スルモノデアアル
横浜正金銀行關係実業家
某
北支事変ガ遂ニ支那事変ト云フ迄ニ昇展シタノ

デ政府ハ此ノ時局重大ニ鑑ミ臨時議會ヲ召集シ
事費二十億數十萬円ヲ金額公債ニ依ル追加予
算案及經濟統制ニ関スル諸法案ヲ提ケシ既ニ此
ノ歴史的尨大ナル軍事費ハ満場一致ヲ以テ貴衆
兩院ヲ通過シタノデアアル
ソコデ一般ニ考ヘラレル事ハ物價騰貴ノ問題デ
アル即チ軍需品生産力充ト共ニ所謂軍事景氣
ヲ引ケシ一方非軍需品ハ原料輸入制限々操短等
ノ爲生産ガ牽制サレテ品不足トナリ物價ハ必然
的ニ騰貴スルノデアアルガ然シ平時ト異リ戦時ノ

場合ハ國民一般ノ非常時認識ニ依ル消費節約ト
生産當業者ガ必ズ政府ノ方針意図ニ副フベク
自治的統制ヲ図ルニト、信ズルノデ騰勢モ順調
デハアルマイカト思ハレル
公債消化ノ事モ既テ公債十三億ノ上更ニ二十億
ト云フノデアアルカラ平時ナラ勿論不可能デ強ク
テ発行スレバ一般經濟界ニ非常ナル悪影響ヲ與
ヘルノデアアルガ此ノ様ニ各種ノ方面ニ適當ナル
統制ヲ加ヘ之ニ政府ノ支拂フ金ハ再ビ銀行預金
或ハ債券購入等デ恰好ガツイテ行クコトダト思

輸出入ノ事モ亦其ノ經濟統制ニ関スル各法實施
 ノ結果非軍需關係物資原料就中生活必需品以外
 ノ貴金屬品、化粧品等、著シク減少シテ軍需品及其ノ原料ノ輸入ハ事變終
 結スル迄増加ノ一途ヲ辿ルデアラウ。
 平和産業ニ及ボス影響モ相當大ナルモノガアラ
 ウ。殊ニ外國ニ原料ヲ仰グ紡織業者、化粧品、
 裝身具等ノ製造業者ノ打撃ハ恐ラク甚大デアラ
 ウガ然シ其ノ一部ハ軍事工場ニ轉化サレルモノ
 モアルノデ多少緩和サレルデアラウ。為替相場

ハ極力對米爲替一志ニ片ノ水準ヲ保持スベク爲
替管理ノ強化輸入品ノ統制等ニ依リ輸入ヲ減少
セシメ國際收支ノ均衡ニ努ムルナランモ輸入激
増ノ爲對米爲替一志ニ片ノ相場維持ニハ可ナリ
困難ガ伴フコト、思フガ向後ノ見透シハ付^カナイ
以上ノ如クニシテ尨大ノ公債発行ト各經濟統制
法實施ノ結果經濟活力ハ軍事關係ヲ中心トスル
爲必然的ニ軍需工業全盛ヲ促シ從テ不急不要ノ
生産ハ繰延ベラレルモ國民一般ノ消費節約、暴
利取締等ニ依テ物價昂騰ハ或ル程度抑止サレル

ノデ公債モ消化サレルコトデアラウシ對外貿易
モ今直ク心配ニナル現象ハ發生シナカラウガ
然シ問題ハ係ツテ事変ノ永續期間ノ長短ニアル
ノデアアルガ兎モ角今日ノ場合ハ民間ノ金融機關
モ經濟機關モ事業家モ舉國一致ノ精神ニ依テ政
府ノ方針ニ基キ自治的ニ適當ナル統制ヲ図ツテ
行クコトデアラウ、私共銀行家モ其ノ内全國銀
行ノ代表者が集ツテ事業資金其ノ他融資ニ就テ
大体ノ標準等ニ付申合ヲ爲スコトニナツテ平ル
が現在ハ以前ノ如ク銀行ノ数が少イノデ此ノ場

合 = ハ頗ル好都合デアル。斯ウシテ政府ノ臨時

資金調整法ノ運用ヲ円滑好果的ナラシムベク協

カ努カスルデアラウ。

某

銀行関係業者

支那事変ノ拡大ニ伴ツテ必然諸経費ハ膨張シ為

= 一躍經濟機構モ準戰時体制ヨリ戰時体制ニ進

展シ最早劃期的ノ統制ヲ見ルコト、ナラウ。

之ノ事変ガ長期ニ亘ル場合ハ經濟ノ推移ハ其ノ

円滑ヲ欠キ株價ノ低落ニ依ツテ國民經濟ノ前途

モ一沫ノ不安ヲ感ジ數日來ノ株價低落ハ畢竟金

融通道ノ証左デアツテ此ノ影響ニ依リ少額資本
ヲ以テ經營ニ當ル事業家ハ漸次倒産ノ運命ニ逢
着スルノデハナイカト思フ、故ニ事変ガ飛躍的
ニ發展スルカ急遽解決矣ニ達スルカ予断スルコ
トハ出来得ナイ、何レニシテモ國內經濟状態ニ
目下ノ如見透シラツケル事ハ困難デアル。

(二)

産業界方面ノ意向

東京 日産株式会社

某

現下經濟界、事業界ノ趨勢ハ大体ニ於テ政府
 ノ方針ニ追隨スルヤウデアアル、政治ノ衝ニ當
 ル者ノ握リ取りヤウデアアルニモ右ニモ動リモノ
 ト信ズル時局ノ爲、物價高ハ止ムヲ得ナイコ
 トデアアル
 戦費ノ調達ハ増税ト公債ニ依ルト言フ方針ヲ
 シイガ急速ニハ如何カト思ハレル、勢ヒ紙幣
 ノ増發ニ依ル外ハナイト思フ、ソウスレバ「イ

シフレイションニナルガ私ハ決シテ之ヲ悪
性トインフレトハ思ハナイ良策ノ「インフ
レト考ヘル國民ハ國家ヲ絶對ニ信賴シテ
ル賤政當局者ノ方針ヲ支持スルモノト考ヘラ
レルカラ決シテ悪性インフレニハナラナイ
紙幣ハ利子ヲ拂ハナイ公債カト思フ、政治ガ
善イトカ悪イトカ言フコトハ國民ガ政府ヲ信
ゼラレルトカドウカト言フコトニ歸着スル、
日本ハ過去ノ戦争ヲ國富ヲ積ンダガ滿洲ヤ其
他ノ投資ヲ國內資本ガソクナニ豊富ニナ

ツテハ斗ナイニモ拘ハラズ、國力ハ確カニ伸
張シテキル、今度ノ事變ノ結果更ニ日本ハ國
力進展上一大飛躍ヲスルカラウ、夫レガ爲ニ
ハ國內少數者ノ利害ハ問題テハナイ、支那ヲ
徹底的ニ料理スル爲ニハ必要ナル緊急手段ヲ
必要トスルコトハ勿論デアアル、私ハ現在ノ經
済界ヲ萎縮サセルヤウナ政策ハ困ルト思フ、
當社ハ新企計畫ヤ新規ノ事業ハ此ノ際
緊縮方針ヲ採ツテキルガ既存ノ事業ハ寧ロ積
極策ヲ採リ全方ヲ擧ゲテ生産擴大ヲ圖ルツモ

リデアル、例へバ我社ノ産金、自動車、食料
品製造等ハ出来ル丈ノ能力ヲ發揮シタイト思
ツテ斗ル

財政経済界ノ事ハ数字ヤ理論バカリデハ方針
ガ決メラレナイ、哲理ヲ入レテ考ヘテ見ナケ
レバナラナイト思フ國家ヲ信頼シ、財政當局ヲ
信ズルナレバ紙幣ノ増發ナドハ心配スルニ足
ラナイト思フ只何事モ節約緊縮ヲ行ツテ國民
ヲ萎縮サスルコトハドウカト思フ

東京 東京電燈株式會社 某

金融界ハ梗塞シテキルヤウデハアルガ、事業
界ハ決シテ悲觀モシテ居ナイシ悪材料モナイ
ト思フ、只近頃政府ハ臨時議會ヲ産業資金ノ
統制ト言フ風ニ統制政策一本ヤリテ行リノダ
ト言フヤウナコトガ風評サレルノデ兎角人心
ガ萎縮スルヤウナ現状ハ困ルト思フ
實質的ニ經濟界ハソレ程困ツテキルノデハナ
イ、只事業ニシロ、金融ニシロ、控へ目ニシ
テキルト言フニ過ギナイ
此ノ点爲政者ハ相當注意サレルコトヲ要望ス

ル經濟界ハ結局政府ノ方針ニ引ズラレテ之ニ
 協カスルコトニナル此ノ際自分ガドウノ斯フ
 ノト言ツテ申ラレナイコトハ覺悟シテ申ルハ
 只殊更ニ人爲的ニ細工ヲ弄スル政策ハ歡迎サ
 レナイト思フ、我々トシテハ戦界前途ノ見透
 シハ今付ケラレナイ結局行リベキ所迄行カネ
 バナラヌト考ヘテ申ル

東京 日本特殊化學工業社 某

少シ位ノ戦費増額ハ已ムヲ得ヌカラ一日モ早
 クケリヲ付ケテ慫シイトノ戦界ノ空氣ガ實現

シ、帝國モ有力部隊ノ増派ヲ企圖シ着々出兵
途上ニアル。彼等ガ主力部隊ヲ集中シテ居
ル上海方面。ノ方面ノ戦闘テ
彼ニ致命的打撃ヲ與ヘタラ事實上支那ハ参
ツテ仕舞フモノト思ハレル、其ノ時期ハ先ツ
各種方面ノ情勢ヨリ見テ十月末ガ邊リモ十一
月末位ト思ハレル、斯ウシタ見越シガ賊界空
氣ニ反映シテカ取引所等ノ動搖ハ少シモ十
現在ノ状態ハ大要左ノ如キ模様デア
一、現在國庫ノ百億公債モ依然トシテ市價ヲ保

安定シテキル之即チ日本帝國ノ經濟力ニ安ンツ
テキル現ハレテ此上尚百億位ノ公債ハ平氣テ
アルト言ツテキル故ニ今度ノ事變追加豫算ニ
十億位ハ何等意ニ留ナテ居ラヌ模様デア
ル

ニ現在諸株ハ僅カニ二三円位ノ安値ヲ示ス程
度、平時ト變リナリ賣叩キ等ヲ爲ス者モ無
リ之が來月アタリニナレバ反對ニ高値ヲ示
ス氣配モ見ヘル

三 只紡績關係方面ニ多少青島方面ノ事
態ヲ懸念スル向アル程度デア
ル

船舶ノ徵發等ニ基リ船侯ノ不調ガ原因シテ貿易ノ不振ヲ示シ居リタルモ聽テ之ヲ排シテ好轉シツ、アル模様ヲ輸出超過ヲ見ルモ近キニアルトノ觀測ガ有カデアル

東京

日本自動車株式會社

某

一般財界テハ軍需品工場ハ事變ノ爲ニ非常ニ儲ケテ居ルト云フ見方ヲスル人モアルガ、儲ケルトカ儲ケナイトカハ問題テナリ一日製兵ノ變レタ爲ニ戰爭ニ影響ヲ及ボス様ナ事ガアツテハナラヌト只我々ハ國家的觀念ヲ君國

ノ爲ニ働リト云フ氣持テ銃後ノ御奉行ヲ申上
ゲテ居ルノデアアル、現在當會社一日ノ製品ハ
約二十台デ此ノ小サナ工場テ東京各工場ノ製
造率ノ約七割ヲ占メテ居ル事ヲ見テモ如何ニ
日本ノ軍需品工場が貧弱デアアルカバ窺ハレル
之デハ到底日本ノ國防上カラシテ忽セニスベ
キ問題デナリ將來ニ於テ政府監督下ニ大軍需
品工場ノ出現が必要デアルト思フ我々業者が
政府ニ要望スルコトハ軍需品ニシテモ政府ハ
予算ヲトレバ、アトハ軍部ニ任セ切リニシテ

ヨイト云フ方針ヲ改メ政府ハ積極的ニ工場ヲ
監督シテ製品ニ過誤ナカラシムル事が必要ト
思フ、輸入統制生産力拡充モ勿論必要デア
ルガ其ノ根本デアル原料統制ニ於テハ充分考慮
セラレ度、例ハ問屋ノ持ツストツク品等ニ
ドレダケノモノガアルカ全ク見透ガ付カズ自
動車ヲ製造スルニシテモ何年之ヲ繼續シ得ル
カ全ク不明ノ状態デアル、枚料モ昨年當時ニ
比較スルト約ニ割五分、暴騰ヲ示シテ居ルノ
デア
アル
カラ
原料
統制
及ビ
スト
ツク
品
調査
ニハ

充分ナル政ニ、御努力ヲ要望スル次第デア
ル

東京 横濱 炭業株式會社 某

市内ノ一々銀行ハ日本銀行トノ取引ヲ好マヌ

ノデレハ今日迄日銀ノ厄外ニナラヌコトヲ

トリトシテアリ又信用ヲ高ムル所以テアルト

思フガ今北支事變費公債が發行セラレ様トシ

テ居ル今日各銀行ハ手許資金準備ノ必要ヲ感

ズルノ余リ警戒ノミナラス逆ニ貸出サヘ回收

セントスル意向サヘ看取セラル、ノテ資金統

制ノ恐怖ヲ怯ヘタ財界、經濟界ノ活動ヲ一層

萎縮セシムルノ結果ヲ招來シテ居ルモノト信
ズル

愛知縣 名古屋自転車工業組合 某

北支事變勃發ニ依リ支那トノ商取引ハ密月十
日頃ヨリ全リ断絶シ吾々業界ハ將ニ浮沈ノ境
ニ直面シタ、現在當工場ニ於テモ職工約三百
名ヲ收容シテ居ルガ一日十五日ハ公休ト日曜
ヲ加ヘ半休状態ヲ漸リ職工ノ露命ヲ榮ク有様
ヲ商取引ノ無イ現在ヲハストツリ品が山積サ
レ而モ尙就勞ワセナケレハナラナイ現状デア

ル、此儘ノ状態ニ於テ向フ数ヶ月モ永續スレ
バ業界デハ到底二度立ツ能ハサル迄ニ至ルデ
アラウ、事變ノ見透シ全然付カサル今日唯恐
慌其ノ儘テ善後對策スラ持タレナイ状態カガ
斯カルコトハ我業界デハ未曾有ノ事デアル

瀬戸陶磁器工業組合

某

事變勃發シテ早クモ四日^目ニハ積込無期延期
ノ入電ガアリ爾來滿一ヶ月北支¹向陶磁器貿易
ハ全ク中断^レサレテ居ル、從來滿鮮へ送ラレタ
貨物ノ半数ハ北支へ仕向ケラレタ様子ダツタ

が之等モ日貨排斥ト船舶不足ニ祟ラレテ殆ド
半減ノ状態カ、今直ニ用意ガナイノテ数字的
ノ説明ガ出来又カ當地方ノ北支向陶磁器貿易
ノ年額ハ約六七千万円テ百万円足ラズカ、併
シ北支ハ將來吾カ陶磁器貿易ノ最大市場デア
リ現今漸リ緒ニ附イタカケニ惜シイ氣モス
ル、ガガ大事ト國策遂行ノ秋々決シテ兎ヤ角言
フヤキテナイ

愛知

尾西織物同業組合

某

毛織物ハ尾西地方ニ於ケル經濟ノ中樞ニ當リ

年産額約二億円ニシテ海外輸出約三千万円ノ
中一千二百万円が対支輸出トナリ居レリ、從
ツテ北支事變ニ因リ業者が受リル打撃ハ相當
甚大デアル、本年ハ既納品中輸出受渡シラ了
シタルモノハ六月迄ニ僅カニ約百二十万円ニ
シテ毎年ノ例ニ徴スレハ七、八、九ノ三ヶ月ハ
冬物輸出ノ最盛期トセラレテ居リ此ノ期間ニ
於テハ一ヶ月平均二百六十万円前後ノ輸出ヲ
爲シ居タルガ、今次ノ事變發生ニ依リ此ノ最
盛期ニ不拘商談殆ト杜絶スルト共ニ出荷延期

ノ申込夥シク支那向製品ノ大部分ハ内地市場
ニストツクシ居ル現状ニシテ、此ノ傾向ハ亦
テ内地向及対外輸出品ニモ影響ヲ及ボシ業者
ハ全ク苦境ニ陥リツ、アル加之原糸（毛糸）
ハ相次イテ下落ノ一途ヲ辿リツ、アリ、即ケ標
準糸AG60ノ相場ハ事實發生當時ノ一卦度ニ
円八十五銭ヨリ現在ニ円五銭内外トナリ約一
ヶ月間三割ニ分ノ下落ヲ示シ尚下落ガ予想セ
ラル、状態ナリ、從ツテストツク品トナリツ
ツアル原糸高値當時ノ契約品ニ及ボス影響モ

亦實ニ甚大ナルモノデアール、此ノ状態が長引
ク様ニナレバ輸出専門機業家中小資本ノ者ハ
休業カ若ハ内地向織物ニ轉向スルノ已ムナキ
ニ至ルデアロウ

愛知鑄造同業組合

某

元来吾國ハ資源ニ乏シイ國土ヲ持ケ其ノ爲ニ
鉄、石炭等ノ大部分ハ輸入ニ仰カネバ十ラ又
状態デアールガ、昨年未ハ非常ニ鉄飢饉ガ續キ
名古屋地方モ本年三月頃迄ハ原料ノ供給難デ
吾々業者ハ非常ニ苦シンダ、而シ其後当局並

ニ販賣供給業モ善処セラレテカ現在ニ於テハ
吾々市内鑄物業者ニ対スル配給モ多少増加シ
現在ハ大体ニ於テ間ニ合ツテ居ル状態デア
ル
カ決シテ充分トハ言ヘナイ、今後北支事變が
擴大スレバ當然戦備資材トシテ鉄ノ需要ハ増
加スルデアラウが屑鉄及銑鉄原料ハ輸入ニ待
ツテ居ルモノデアリ急ニ増産設備モ出来ヌカ
ラ單ニ日鉄、共販等ノ善処ニヨリ其ノ需要ニ
應ジ得ルトハ思ハレズ來ルモノハ當然鉄飢饉
ノ状態デアラウ、現在吾々ノ受注ノ中織機紡

機等ハ業界不振ノ爲多少減ジテ居ルガ其ノ他
ノ工作機械等ハ政府ノ主産力擴充ノ聲ニ應ジ
續々増拓ナシツ、アリ注文ハ今後減スルトモ
思ハレナイ、故ニ吾々トシテハ日支事變ニ直
面シテ居ル以上尖ノ際自重シテ出來得ル限り
鉄ノ喰ヒ並シヲナシ今カラ鉄不足ニ對スル心
構ヘヨシテ置リコトカ必要テアラウ

富山縣

丸谷製絲工場

某

事變ガ纖維工業界ニ及ボシタル影響ハ極メテ
甚大ナルモ、アリ、現在ニ於テハ支那向ノ輸

出資ハ既約済ノモノトモ破約セラレ居ルモ
ノニシテ該方面ニ輸出スベリ製造セラレタル
既成品ハ消費ノ方途ナリ露店等ニ於テ捨賣処
分ヲナシツ、アリ、殊ニ人絹ニ至リテハ甚シ
ク之ガ爲福井縣方面ニ於テハ約二百萬円ノ損
害ヲ蒙リ破産逃亡スル機業家或ハ問屋等尠シ
トセズ如斯影響ハ纖維工業界全般ヲ通シテノ
現象ニシテ惹イテハ一般勞働階級ニ其ノ累ヲ
及ボシ從ツテ銃後ノ護ニ支障ヲ來ス結果ヲ見
ルニ至ラム

大同電力關係實業家

某

一 國債ノ消化ハ現在ノ状態ニテハ恐ラク消化
シキレナイト思フ、其ノ原因ノ一ツハ現今
ノ銀行家ノ型ガ余リニモ古イガデハナイカ
ト思フ、現在銀行家ノ態度ハ自分ノ銀行ア
ルヲ知ツテ國家アルヲ知ラヌカノ感ガアル
三井、三菱、安田、住友、第一等ノ大銀行
ガ卒先シテ現在ノ非常時局ヲ認識シ門戸ヲ
開放シ冷タイ金ヲ取扱フニモ一服ノ情味ヲ
加味シ國家ノ利益ニ運轉シタイ、有價証券

ノ下落モ或ル程度迄喰イ止メラレタラト自
分ハ念ジテ牛ル次第ダ

一、現下ノ平和産業ハ事変ノ余波ヲ受ケ萎微沈
滞シテ居ル有様デ此ノ終等閑ニ付スコトノ
尙来ナイ問題デアル。政府ハ時局柄戰時産
業ノミニ没頭シテ平和産業ヲ省ミナイ傾ガ
アル様ニ思フ。戰時産業ハ一時的ノモノナ
ルニ反シ平和産業ハ富國強兵ノ基_シヲ爲スモ
ノデアリ大イニ興隆ノ方法ヲ構ジ國力ヲ養
フベキデアル。

一、貿易モ目下ノ多振ハナイガ之モ政府ガ戦時
産業ノミニ没頭シテ平和産業ノ萎縮ガ原因
ヲ爲シテ平ルト思フ。大イニ國內産業ヲ振
興スベキダ。
爲替相場ニ對スル見透ニ就テハ現在ノ多逆
嗜シ難イ状態ニアルガ國內銀行業者ノ覺醒
ヲ促シ國債ヤ有價証券ノ下落ヲ喰止メルコ
トニ依ツテ延テハ國內産業發展ヲ促進スル
コトニナリ轉ジテ國際信用ヲ増進スルコト
ニナルト思フ。

一臨時議會 = 提案ノ各種統制 = 関スル諸法案
= 就テハ色々取沙汰サレテキルガ大体 = 於
テ余リ = 規則 = 提ハレ過ギテキル様 = 思フ
余リ規則規範等 = 拘泥スルト人間ハ萎微ス
ルモノデアアル今少シ自由ナ氣持ニ任ラシ
クイト思フ。

日本新興産業、實業家

某

今回ノ事度ハ日本ガ勝ツトシテモ第三國ノ于
涉トカ外交々涉ノ如何 = 依ツテハ負ケト同
ジヤウナ結果トナルコトモアルカラ十分注意

シナケレバナラヌ。元来今回ノ事変ハ我國ト
シテハ未ダ準備ガ整ハザル中ニ始マツタ譯デ
平素ニ於テモ重要物資ハ外國カラ買入レナケ
レバナラヌノデアルカラ事変ニ依ツテ更ニ此
ノ勢ハ助長スルコト、ナル。併シ事変費ノニ
十億トカ三十億トイフ金ハ國內關係ノコトデ
アルカラ別ニ驚クニ足リナイ。多少ノインフ
レ状態ガ生ジテモ別ニ憂慮スベキモノト思ハ
レナイガ唯其ノ費用ノ中何割カハ物資ヲ國外
カラ仰ガナケレバナラヌノデソレダケ海外ニ

正貨が流出スルコト、ナル。從來トシテモ正
貨が流出シテ居ル後へ事変ニ依ツテ更ニ拍車
ヲ掛ケラル、コトニナル譯デアアルカラ此真ニ
付テハ充分注意ヲ要スルモノト思フ。斯様ナ
状態ニ對應スルニハドウシタラ宜イカト云へ
バ戦争ヲ早ク片付ケ、内ニアリテハ生産ノ振
充ヲ計ル必要ガアルノデアアルが要スルニ人ノ
問題ニナルノデアツテ手腕、経験アル大政治
家ニ依テ適切ナル方策ヲ樹テル必要ガアルト
思フ。

大東紡織関係資業家

某

一、通常會計 = 於ケル國債及今回ノ事変費合セ
テ三十四五億 = 達シ資 = 尠大ナル國債デア
ル。之ヲ消化スルコトハ資 = 困難ナル問題
デアリ無論市場 = 於テノ消化ハ出来ヌト思
フカ幸ヒ日本銀行ガ之ヲ引受ケルトノコト
デアルカラ先ツ安心ダガサテ日本銀行ハ此
ノ國債ヲ担保トシテ紙幣ヲ発行スルコト、
ナルモノト思ハレルシ物價ノ高騰ヲ来スコ
トハ必然デアル、故 = 之ガ防止ノ對策トシ

テ思惑等ノ取締ヲ爲シ物價ノ騰貴ヲ防_{三〇}ガナ
ケレバナラヌ。暴利取締ノ徹底完璧ヲ期シ
得ルナラバ之ノ問題ハソウ心配スルコトハ
無イト思フ。

ニ我國ノ輸入ハ本年ニ入ツテ激増ヲ来シタ之
ハ軍需品ノ關係デアル然ルニ一方輸尙向ラ
見ルニ第一支那ヘノ輸尙ガ減少シテ居ル今
後モ之ノ状態ハ續クモノト思ハネバナラヌ。
之ガ對策トシテ政府ニ於テハ輸入ノ統制ヲ
爲シ一方國民ニハ消費ノ節約ヲナサシメテ

輸送ノ増加ヲ獎勵シテ居ルノデアルカラ國
民一般モ其ノ心算デ萬事ニ意ヲ用フル必要
ガアル。

三、目下ノ政府ノ措置ニ依ツテ爲替相場ハ安
定シテ居ルガ此ノ点ハ政府デモ非常ニ心配
ラシイ國內ニ於テハ紙幣が通用スルガ外國
關係ニ於テハソレが出来ヌカラ此ノ状態ガ
長期ニ直レバ相場ハ下落スレコトニナルノ
デ此ノ辺慎重ニ警戒スル必要ガアルト思フ

四、政府ハ經濟統制ヲ行ハントシテ居ルガ之ハ

當然ノコトデ、例ハ金融ノ統制ヲ行ヒ軍
 需工場以外ハ増資拡張ヲ認メ又輸入ニ
 於テモ鉄、ゴム、アンケモニ一等ノ軍需品
 ニ必要ナルモノ、外輸入ノ統制ヲナスコト
 ハ必要ナルコトデ之等ノ影響スル歟ハ大ナ
 ルモノアリト雖モ國民ハ忍バネナラス
 五事変ノ終ツタ後ガ非常ニ心配デアアル戦争中
 ニハ軍需工場ニ轉ズル工場モ戦争終了後ハ
 旧ニ復スルノデアアルガ産業界ニ於テハ其ノ
 時機ガ一番危険デアリ彼ノ歐洲大戦後ニ於

ル独逸ノ経済状態、如キ現象ヲ起サネバ良
イト心配シテ居ル次第デアル、

浅野セメント関係資業家 某

事変が拡大スレバ多額ノ経費ヲ要スル事ハ當
然デアアル、数字が十億デモ二十億デモ國內デ
融通カ付フト私ハ思ツテキル、何レモ公債ニ
換ルコトデアラウガ、其ノ消化ニツイテハ賀
屋藏相等モ相當ノ自信ヲ持ツテ居ラル、様デ
アル、明年度ノ予算ノ編成ニ就テハ事変動向
ニ依ツテ種々ニ考ヘラレルガ軍部大臣が枢密

院ニ於テ爲シタ事度ノ經過並ニ将来ノ見透及
事度處理ニ對スル方策等ヨリ見テ戰鬪行爲丈
ハ短日月ニ終熄スルモノト信ジテ居ルノデ明
年度予算ニ就テハ今カラ心配シナクモ良イト
思フ、例ヘ事度ガ長期ニ亘リ多額ノ予算編成
ノ必要アルトモ斯様ナ場合ハ實力以外ナ融通
ノ出来ルノガ我邦ノ他國ト異ル所デアアル。
事業ト云フモノハ資本ヲ投ジテ相當将来ノ事
ヲ計劃シテ居ルノデ有ツテ事業ニ缺クベカラ
ザルモノハ資本ト同時ニ人的ナ要素デアアル。

夫レが事変ニ依ツテ相當數ノ召集ヲ受ケ當面
ノ支障ハ勿論將來産業界ニ相當ノ影響ガアル
ト思フ、殊ニ船舶輸送方面ハ相當ノ影響ノア
ル様ニ聞イテ居ル。
政府ハ事業資金ノ統制ニ乘出シ事業ノ建設改
良等ニ要スル資金ノ融通ハ總テ政府ノ許可ヲ
要スルニ許可ナクシテハ銀行ハ融資ニ應ジナ
イト云フ様ナ事ニナルノデアアルガ戰時体制下
ニ於ケル一時便法トシテハ已ムヲ得ナイ。之
が爲ニ軍事産業方面ハ非常ニ好都合ニナリ、

社債ノ募集及増資等ニ便ニナルガ、一方平和産業方面ハ相當ノ影響ガアルト考ヘラレル。

貿易業關係實業家

某

事変モ益々拡大スル計リデ此ノ分デハ何時鎮定スルカ見當ガ付カズ状態デアル。財界方面デモ此事変ノ見當ガ付カナイ内ハ誰デモ其ノ見透シハ出来ヌト、思フ、而シ支那ガ反省シナイ限り徹底的ニ膺懲スルヨリ外ニ方法ガナイ。事変中ハ對支貿易モ一時頓坐ラ来スカラ經濟界ニ及ボス影響ハ頗ル甚大デアラウガ

事件が済メバ却テ良クナルコト、思フ。
日本ハ此ノ機會ニ於テ如何ナル犠牲ヲ拂ツテ
モ徹頭徹尾支那ヲ覺醒セシメ排日抗日ヲ根本
カラ芟除セネバナラヌト思フ。元來支那ハ中
々狡イカデ中途半端ニシテ置ケバ今後ト雖モ
時々同ジ様ナ事件ヲ繰返スコト、思フノデ徹
底的ニヤツ付ケルコトが必要ダト思フ。今因
ノ戦局ハ何時迄續クカハ見當が付カヌガ相當
永引クモノト見テ其文ノ覺悟が必要ト思フ
事變モ殆マリ日本ノ希望通り明朗支那建設ト
ニシ

ナレバ從來ヨリ以上ノ對支貿易が行ハルコト
ト、思フ。

日本化學工業關係實業家 其

臨時議會デ二十億二千萬圓、軍事豫算ガ通り
前議會、軍事費五億圓通常豫算ヲ合スル時本
年度公債發行額ハ三十五億圓ヲ超スコトニナ
ル一部増税モ少數、高級所得者ニ課シタ所デ
僅カノモノデアリ最早ヤ今日デハ現在ヨリ以
上ノ課税ハ一寸無理ガアルト云フ様ナ聲モ聞
ク、勿論諸外國ノ例ニ倣ヒ六七百圓程度、所
得者ニ課税スルトナレバマダ相當、増税モ可
能性ハアルダウガ今ノ處、増税ハ徒ラニ生

産事業資金等ヲ壓迫セシメルノミダト云ツテ
外債ヲ募集スルコトハ絶対ニ不可能デハナイ
ガ大ナル不利益デ現在ノ日本トシテハ信用上
其他殆ンド絶対ニ出来ナイ問題デア
戦局ノ前途トカ經濟狀態或ハ産業狀態ノ見透
シト云フガ如キコトハ何人ト雖モツクモノデ
ナイ
政府當局者ニサヘ見透シガツカナイモノガ何
デ普通人ニツク譯ガナイ、二十億ノ國債消
化モ國民ノ愛國精神ヲヨリ一層高潮セシメ舉

國一致國難ニ處スルノ氣分ヲ以テ護國愛國ノ
財金ヲセシメル一方政府ハ大藏省ノミ獨斷ニ
依ラズ商工、農林、各方面連絡ヲ保持シテ民
間生保銀行シンダケート團等ト步調ヲ合セテ
或ハ二億或ハ三億ト金融状態ヲ見ツ、小口ニ
種々ナル方法ヲ以テ臨メバ今度ノ軍事費位ハ
何トカ消化ハ出來ルダラウガ事羨ノ見透ハ今
度ノ豫算ノミト云フコトハ出來ズ時局ノ推移
ニ依リ再ビ何億或ハ何十億ノ軍事費ヲ必要ト
スル時ガ來ルカモ知レナイニ様ナ場合ニハ

現在ノ状態デハ到底消化出來ルモノデハナイ、
政府ハ國民ニ對シテ絶對ニ事変ニ倦怠ヲ覺ヘ
サセテハナラン、仲ハ難カシイ問題ダガ國民
ニ倦怠ノ氣分ヲ起サセナケレバ財界ニ對スル
危機ハナイダラウ

次ニ武器彈藥等ノ軍需品モ今ノ處多年蓄積セ
ルヲ費消シテ居ルカラ格別ノ苦痛モ無イ様ダ
ガ戦線ノ擴大トソ聯ノ關係等ヨリ益々充實セ
ナケレバナランガ此ノ原料ハ相當海外ノ輸入
ニ仰ガネバナラン此レニ依リ爲替相場保持ノ

爲メ金ノ現送ト云フ振ナコトモドシノヤラ
ネバナラムトナルト國內ノ産金事業等ハ軍需
品製造ヨリ以上ノ努力ヲ拂ハナケレバナラン
ガソウ無暗ト金ノ産出等ハ望メルモノテナイ
カラ勢ヒ總テノ消費節約ト云フコトニナルト
共ニ今日再ビ叫バレテ來タ農村ヲ對象トシテ
、彼ノ肥料統制ト云フガ如キコトガ各方面ニ
向ツテ其ノ必要ニ應ジ色々ノ叫トナツテ現レ
テ來ルダロウ

戦線ノ擴大ト共ニ軍需工業ハ急速無限ニ擴張

サレテ行クガ世界ニ戦争ノ無クナルコトハ絶
對ニ無イダロウシ平和ノ中ニモ軍備ノ必要ハ
アルガ然シ物ニハ限度ガアル今日ノ軍需工場
モ一度戦局ノ終局ヲ見ンカ所謂生産工業ニ歸
ルモト見ナケレバナランガ其ノ時ニ如何ナ
ル處置ヲトラナケレバナランカト言フコトハ
實ニ戦争以上ノ重大問題デアリ誰モ腹ノ中デ
ハ心配シテ居ルモノ、今日其レニ對シテ如何
ナル對策ヲシヤウト言フガ如キコトハ恐ラク
考ヘテモ見透シノ附カナイ問題デ簡單ニ具体

的方法等ハ誰ニモ言ヘナイダロウ
支那戦局ノ見透シニ就テモ各人各様ノ意見ヲ
聞クガ僕ハ先ヅ上海附近一帯ノ我軍ノ占據ニ
依リ一役落ト見ラル、カ勿論ソ聯ノ出方ニ依
リテハ尚逆踏シ難イ状態ニ置カレ陸軍參謀本
部ノ人達ヨリ聞クト戦争避ケ難シトノ話モア
ルガ上海占領ガ戦局ヲ結ブ最モ好時期ト考ヘ
ル此レ以上支那軍ヲ追フトナルト何處迄追ツ
テヨイカ見當ガ附カナイ上海占據迄ニ北支方
面デハ山西ノ大同其他保定、滄州位迄占據シ

テ置ケバ相當有利ノ條件が得ラレルモノト思
フ
支那ハ盛ニ第三國ノ英國アタリヲ仲裁ニ乘リ
出サセヨウト運動シテ居ルカ日本ハ第三國ノ
介入ヲ絶對ニ排撃シテ居ル 然シ支那モ謝ッ
テハ來ナイダコウシ日本トシテモ何時迄戰ッ
テ居ル譯ニハ行カナイカラ何レハ米國アタリ
ノ仲裁ヲ聞クダコウカ今日迄ノ手前其ノ第一
條件ハ抗日侮日ノ徹底的排除ニアルカラ南京
政府所謂蔣介石政府ノ打倒ニアルカ後ニ何人

が立ツカー一寸困ツタ問題デアル
軍事的見方ハワカラシガ経済的ニ現在ノ南京
政府ヲ見ルニ最近ノ五億圓ノ公債募集ニ馬力
ヲカケテ強制的ニ浙江財閥ニ引受ケサセテモ
約五割引ノ一億圓程度ノモノト見ラレル孔祥
熙が如何ニ運動シテモ現在ノ支那ノ借款ニ應
ズル國ハソ聯以外ニハ先ヅ無イダコウシ
ソ聯ト雖モ勘定ノ悪イ仕事ハシナイダコウ
チエツコカラ兵器ノ輸入ニ成功シタト言フモ金
ハ佛國カラ出テ居ルラシイが大シタコトハ無

イダロウ戦敗國トナルト何レノ國デモ要心シ
テ中々金ヲ出シテ呉レルモノデナイ
上海ガ日本軍ノ手ニ占據サレタトナレバ經濟
的ニ支那ハ立行カナイ蔣介石政權ハ先ヅ倒潰
スルダロウガ此ノ局ヲ結ブ時ニ大人物大手腕
家ノ必要カ感じラレルノダ勿論北支五省或
ハ黄河以北ノ地ハ陸軍等ノ人達ノ意見ノ通り
特種ノ政權ノ樹立ハ見ラレルダロウ現在ノ
察哈省ノ如ク彼地ニハ板垣征四郎中將ニ依リ
着々其ノ歩ヲ進メラレテ居ルガ往年ノシベリ

了出矣ノ如キハ何千ノ尊也國民ノ血ト何億ノ
國費ヲ消費シテ何一ツ得ル所ガ無カッタデハ
ナイカ。遠クハ日露戦争ノポーツマス條約ニ
シテ然リダ腹ノアル人物ノ出現ニヨリ時局拾
收ノ遺憾ナキヲ期シテホシイト言フコトハ國
民全部ノ最大ノ聲ダコウ
三池化學工業關係實業家
今次ノ支那事變ニ迄發展セシメタルハ過去ニ
於ケル軟弱外交ガ遠因ヲナシ支那自身モ自省
スル處ナク益々暴戾ヲ揮ヒ故ニ徹底的ニ膺懲

シ以テ支那政府ノ反省ヲ促シ東洋永遠ノ平和ヲ確立スルニアリ之が爲メ舉國一致シ特ニ皇軍日夜ノ奮闘ニ對シ常ニ感謝シテ居ル次第デア
アル

政府ハ事変ニ對スル豫算案及法律案提出ノタメ臨時議會ヲ召集シソノ開院式ニ當リ畏クモ天皇陛下ニハ優渥ナル御勅語ヲ賜リ吾々臣民一同恐懼感激ニ堪ヘナイ故ニ御聖旨ヲ奉体シ以テ御宸襟ヲ安ジ奉ルコソ吾々ノ責務デア
吾々ハコノ非常時ニ相當ノ犠牲ヲ甘受シ忍

ニ堪ヘル決心デアルが故ニ財界ノ援助ヲ惜ム
モノデハナイ豫算案ノ如キハ原案通過スルモ
ノト思フ
コノ非常時ニ際シ軍ノ需要及ビ國防ニ關係ア
ル産業等必要ナル方面ニ對シソノ必要ナル物
資ト資金ト労カト出来得ル限り潤澤ニ供給ス
ルコトヲ中心トシテ諸般ノ方策ヲ講ズルタメ
ニハ諸種ノ統制モ亦已ムナキモ特ニ自主的ヲ
加味シタル統制ヲ望ム、今後事件ハ第三國ノ
介入等ニヨリ益々擴大スル慮アルモ如何ニ擴

大スルトモ財界方面ハ五百億位ハ外債ヲ募集
 セザルモ可ナルモノト思フ然レ共出来得ベク
 ンバ小額ニテ速カニ解決ヲ希フモノデアアル
 又惜ムラクハコノ非常時経費節約スベキ期ニ
 當リ皇軍慰問テフ美名ノ下ニ所謂大名旅行ヲ
 ナサントスル市會議員アル由ヲ聞クガ斯ル
 費用ハ二三名ニ止メソノ他ハ皇軍慰問品或ハ
 國防費ニ献金スベキデアアル彼等ノ及者ヲ望ム
 富士瓦斯紡績関係實業家
 事変ノ進展ニ伴ヒ軍事豫算ノ膨張ヲ來シ之ヲ

大スルトモ財界方面ハ五百億位ハ外債ヲ募集
セザルモ可ナルモノト思フ然レ共出来得ベク
ンバ小額ニテ速カニ解決ヲ希フモノデア
又惜ムラクハコノ非常時経費節約スベキ期ニ
當リ皇軍慰問テフ美名ノ下ニ所謂大名旅行ヲ
ナサントスル市會議員アル由ヲ聞クガ斯ル
費用ハ二三名ニ止メソノ他ハ皇軍慰問品或ハ
國防費ニ献金スベキデア
富士瓦斯紡績関係實業家
事^レ進^レ展ニ伴ヒ軍事豫算ノ膨張ヲ來シ之ヲ

國債ヲ以テ充當スル事トナレバ如何ニ政府ハ
インフレヲ避ケ巧妙ニ工作ヲ爲スト雖モ必然
的物價ノ騰貴ハ免レマイ
例ヘバ我々紡績業者ノ場合デモ原料輸入統制
ノ爲メ自然製品ノ値上リヲ來スハ當然デアリ
況ンヤ軍需工業ノ原料ノ暴騰ニ至ツテハ論外
デ從而全般的ノ騰貴ヲ見ルハ明カデアルガ急
激ノ騰貴ハナイト思フ 生活必需品ニ對シテ
ハ暴利取締令其他ニ依ツテ徹底シテ取締ヲ期
待スル

軍需工業資金ノ拡大ト地方中小工業者ヨリノ
資金需要殺到ノ爲メ現在ノ金融界ハ資金枯渴
ノ状態ニアルカ先般ノ國債発行ニ際シテモ其
ノ消化力ハ余リ香シクナカッタ然シ乍ラ現在
我財界ニ於テ二十億ヤ三十億ノ國債ヲ消化シ
得ナイコトハ断ジテナイ又其ノ方法如何カ
問題デ今度ノ二十億余ノ國債消化ニ就テモ政
府ガ慎重ニ考慮シテ居ルコトデアロウ
結局日本銀行ガ之ヲ引受ケ徐々ニ民間ニ引受
ケサセル方針ト思ハレル

軍需品原料ノ輸入ハ今後約七億ヲ要スト称サ
レテ居リ之ニ對シ政府ハ平和産業原料ノ輸入
統制ト此種製品ノ輸出奨励ヲ以テバラン入ヲ
取り極力入超防止ニ努メル心算ラシク綿布、
毛製品等ノ國內消費ハ可成ステイプル・フ
アイバーヲ以テ充當スル様ナ方針ヲ採ル腹ラ
シイガ右對策ニ依ツテ幾分緩和サル、トシテ
モ入超増加ハ不可避ト推測サレル
平和産業ニ對シテ今因ノ事業統制ニヨリ事業
ノ拡張増資等禁止ノ状態ニナル業界デハ操短

軍需品原料ノ輸入ハ今後約七億ヲ要スト称サ
レテ居リ之ニ對シ政府ハ平和産業原料ノ輸入
統制ト此種製品ノ輸出奨励ヲ以テバランヌヲ
取り極力入超防止ニ努メル心算ラシク綿布、
毛製品等ノ國內消費ハ可成ステイプル・フ
アイバーヲ以テ充當スル様ナ方針ヲ採ル腹ラ
シイガ右對策ニ依ツテ幾分緩和サル、トシテ
モ入超増加ハ不可避ト推測サレル
平和産業ニ對シテ今回ノ事業統制ニヨリ事業
ノ拡張増資等禁止ノ状態ニナル業界デハ操短

デ之が対策ヲ講ジテ居ル

國內産業ノ過半数ヲ占ムル平和産業が極度ニ萎縮センカ失業者續出ノ結果トナリ由々敷キ問題トナル

我々業者トシテハ此際現場維持が出来レバ最上ト心得テ居ルが多少ノ萎縮ハ避ケ得ラレナイト觀念シ対策ニ奮心シツ、アル次第デアル爲替相場ノ如何ハ直ニ我對外信用ヲ表スモノデアル以上政府ニ於テ面目ニカケテモ現相場対英一志ニ片、対米二十八弗台ヲ維持ニ努力

スルコト、思フ
朝麦が比較的短期ニ解決シタ場合ハ心配ハナ
イカ長期ニ亘ツタ場合ハ自給自足ノ状態ニア
ル我國トシテ現状維持ハ困難デアロウ
今回臨時議會ヲ通過セル資金調整法外教件ノ
法律ハ現下ノ準戦時体制ノ下ニ在リテハ當然
ノ事トシテ財界方面ニ格別ノ影響ハナイ、只
其ノ實施ノ方法ハ急ニ携ラザル様政府當局ニ
要望スル次第デアル

大日本麥酒株式會社

某

支那事変ニ基因シテ我々同業者ニ於テモ一般
ニ購買力ノ減退トナリ支那方面ノ輸出ハ皆無
トナツタ、之レニ從ツテ諸外國ノ輸出モ減退
セルコトハ数字ノ上ニモ判然トナツテ末々之
レニ及ビテ諸原料ノ値上ゲヲ伴ヒ業者ノ困難
ハ加ハリツツアル、支那事変ニ對スル政府ノ
方針ヲ協力以テセレヲ支授スルコトハ言フ俟
タザルモ暴戾非道ナル支那軍ニ對シテハ徹底
的膺懲ヲ加ヘ然レテ事件解決^後速カナランコト

ヲ切望スルモノデアル此ノ非常時ニハ眞ニ國
民一致ノ協カコソ時難克服トナリ國難突破ニ
邁進ノ秋デアルト思フ然ルニ六大銀行ハ營利
本位ニ營業ヲ持續シツツアルヤニ聞クガ斯カル
業者ノ行爲ハ國家重大難局ニ直面セル今日嚴
ニ慎シマネバナラヌト思フ。

建材関係實業家

某

支那事変が之迄擴大シタ今日、日本ハ徹底的
ニ支那ヲ膺懲シテ東洋永遠ノ平和ヲ計ル事ハ
必要デアリ政府ニ於テモ斷乎タル決意ヲ披瀝
シテ事態ヲ拾収スベク萬全ノ策ヲ講ジテ居ル
ノデアルカラ國民モ一致協力シテ政府ヲ支援
シナクテハナラヌ

乍然政府最初ノ不擴大方針が之迄擴大シタ事
ハ支那ノ挑戰的態度ニ基因シタ結果デアラ
ウガ先ヅ外交失敗ト見テヨカラウ、今次ノ支

那事変が日本ノ断乎タル脅懾ニヨリ支那ヲ降
伏セシムルトレテモ今日迄支那國民ノ取り来
リタル排日思想が根柢カラ改メラルルヤ否ヤ
甚ダ懸念ヲ持ツモノデアル之が若シ改メ得ラ
レナカワタトスレバ今回ノ事変ハ全ク意義ヲ
ナサナイノデアル

政府ハ或ル程度ノ長期抗争モ又止ムナシトノ
方針ノ様デアルが之が長期ニ亘ル事ニヨリ賤
民ニ影響ヲ齎ス事ハ云フ迄モナイ事デ之が日
支事変ニ止マラズ、若シ日露戦争ヲ誘發スル

殊ナ事アラシカドウシテモ敗戦ニ刺戟ヲ與ヘ
テ一般ヲ萎縮セシムル様ナ結果ヲ招来スルト
思フ政府ハ臨時議會ニ於テ戰時經濟ノ非常之
法々案ガ提出サレルト思フガ政府ノ實施セン
トスル産業國策トカ諸經濟統制ハ勿論必要デ
ハアラウガ現在ノ狀態ガ左程迄逼迫シテ居ル
トハ思ハレナイ
兎ニ角官僚的統制ニヨル産業國策或ハ諸統制
ハ敗戦ニ影響スル事が大キイカラ政府ニ於テ
モ充分ナル研究ヲ要スルモノト思フ、敗戦ハ

或ル程度ノ増税等ハ耐ヘ得ラルルノデアアルガ
 産業國策ハ將來大キナ危険ガ伴フコトト思フ
 洋紙業家 某

一、先年独逸ノ崩壊シタルハ宣傳ガ拙カツタカ
 ラテ敵國ノ宣傳ニ壓セラレ内部的抗争ニ依
 リ不統一ヲ来シタ結果及乱ガ起ツタノカ原
 因シタノダ、支那モ宣傳ハ極メテ巧ミテ交
 通ノ不便ナノヲ良イコトニシテ盛ニ戦勝ノ
 宣傳ヲシテ居ルカラユヲ信ジ勝誇ツテ居ル
 ノデア割合ニ強イノダ前回ノ支那事変ニモ支

那ハ日本ニ勝テリト稱シ現ニ上海ニハ大キ
十戰捷記念塔が建テテアル

一、歐洲戰爭ノ當時ニハ食料ノ欠乏ヲ来シタガ

日本ハ食料ニハ決シテ事カカ無イ、本年ノ

米モ頗ル豊作デ寧口生産過剩ノ状態ニアル

故令戰爭ハ長期ニ亘ツテモ此点ハ自給自足

が出来ルカラ心強イ

一、臨時議會ニ於テ支那事変費二十億数千萬圓

ヲ計上シセテ公債ニ俟ツノデアアルガ公債ハ

國內デ流動スルノダカラ円滑ニ消化スルト

思フ之ニ伴フインフレヲ生ズル事ガアツ
 テモ法莫ノ他デ物價騰貴ノ抑制ヲ計レバ重
 大ナル影響ヲ及ボスコトハアルマイ、又日
 本ニハ相當ノ外債ハアルガ日本人ノ貸シテ
 居ル金モ非常ニ多シ差引スレバ僅カ六七億
 ニ過ギナイ

一、常ニ日本ノ貿易ニ對シ迫害ヲ與ヘテ居ルノ
 ハ英國ガ支那ニ於テハ特ニ甚ダシイ、ド
 ウシテモ英國ニ制肘ヲ加ヘナケレバ日本ノ
 貿易ハ發達シナイト思フ、工業俱樂部ナド

テ奇々協議ヲスルノダガ、上部ノ古イ外交
官連ノ中親英派ノ人達ハ常ニウマク英國ニ
操ラレテ居ルカラ此ノ輿論ヲ押ヘツケルコ
トガ必要デアル

一、對ソヤ英米今後ノ出様ニ依ラネバ將來ノ見
透ハツカナイガ日本トシテハソ聯ニ備ヘル
ハ勿論此ノ事変ノ長期ニ亘ルコトヲ覺悟シ
テ國民經濟ノ培養ヲ計ルト共ニ充分ナル準
備ガ必要ダト思フ

船舶業關係實業家

某